

KANAGAWA

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

<https://www.j-kana.or.jp/>
email: info@j-kana.or.jp



1

January , 2024
vol. 448

令和6年5月号より会員寄稿
『わが恩師を語る』の連載が始まります。
詳細は裏表紙を参照して下さい。



Contents

会長年頭挨拶	01
副会長年頭挨拶	02
特集 無印良品が考える空間づくり	03
建築探訪(日立駅・SHONAI HOTEL SUIDEN TERRASSE)	05
全国大会報告	07
スポーツ大会報告	08
賛助会だより	09
支部のページ(横浜支部・平塚支部・海老名支部)	11
編集者のつづやき(沖縄)	14

瓦版は2021年12月よりWeb配信となりました。

謹賀新年

本年もよろしくお願ひいたします



『使える・頼れる神事協へ』

一般社団法人
神奈川県建築士事務所協会
会長 平山 正義

謹んで新年のお祝いを申し上げ2024年のスタートに当たりご挨拶させていただきます。

昨年6月の定時総会で会長に就任して怒涛の半年が過ぎ、いろいろ勉強させて頂きました。また、多くの皆様に出会うことが出来ましたことを感謝申し上げます。

1

昨年は、長引くロシアのウクライナ侵攻に加えてイスラエルとパレスチナの紛争が起きて「争い」が際立ちました。早期の解決が待たれます。同時に地球温暖化はさらに深刻さを増して我が国の気候にも大きな変動をもたらし、様々な災害を誘発しています。防災・減災対策がますます重要になります。

建築界では、こうした世界情勢による様々な影響に加えて建設コストの高騰に見舞われています。少なくとも20%~50%の上昇がみられます。事業計画の見直しやプロジェクトの延期も発生していますし、同時に、LCC（ライフサイクルコスト）に着目した「長寿命化」や「省エネ」にもこれまで以上に取り組まざるを得ない情勢です。

神事協として、私は「本会与支部の連携、支部の活性化」をテーマにしています。本会では懸案の会員サポートセンターを今年度中にスタートさせ、「使える神事協」を実現させます。支部では、これまでの仕事展や木造耐震支援に加え、いわゆる2000年問題（昭和56年~新耐震

基準の施行・平成12年までの間のグレーゾーンの木造耐震化促進）に取り組み、県内の自治体に働きかけ早期の補助事業スタートを実現させます。

また、県民・市民の建築相談や自治体からの依頼にもできる限り応えられる「頼れる神事協」を目指します。

辰年は、「活力旺盛で大きく成長し、形が整う」との意味があるそうです。支部と委員会（本会）が活性化し、「オール神事協」の精神で750社のパワーを発揮する年にしたいと思いますので、会員の皆様はじめ行政、関係団体の皆様のさらなるご協力をお願いいたします。

*会員サポートセンター（専門家の紹介、福利厚生や保険制度紹介、経営支援等を行う）



～副会長より 新年の抱負を頂きました～



新技術で逆に深く考えさせられます

副会長 山口 英生

人生初ChatGPTにて、以下が最新AIの考える令和6年理想の新年挨拶。

『今年も新たな一歩を踏み出し、私たちの組織はさらなる成長と成功に向けて進んでいくことを楽しみにしています。新しい年が始まり、私たちは過去の成果を称えつつ、未来に向けての新たな目標に向かって進んでいく時期です。

副会長として、この組織の一員として、私は誇りに思います。私たちは、協力と努力によって成り立っています。皆さんの熱意と献身が、私たちが過去一年で達成した成功の背後にある力です。

新しい年は、新たな挑戦と機会をもたらすでしょう。私たちは変化を受け入れ、それを活かす覚悟があります。危機や試練があっても、団結し、協力し、お互いを励まし合いながら、困難を乗り越える力を持っています。

新年の始まりにあたり、私たちは新たな希望と情熱をもって前進します。私たちの目標を達成し、成功を収めるために、皆さんと協力し続けることを楽しみにしています。』

思わず共感してしまう自分が情けないやら、このレベルのAI建築設計には負けないぞ、と意味なく克己するやら。皆さまはどうお感じになりますか？



年頭の挨拶

副会長 小松 正道

私事ですが、今年で、5回目の年男を迎えることができました。

神事協の諸先輩方から見れば、まだまだ若いと存じますが、何とかこの世界で生きてこられたと思うのが実感です。

これもひとえに、諸先輩方のご指導、ご鞭撻の賜物と心より感謝しております。これからは、諸先輩方が創って来られた、この素晴らしい神事協を、後輩へ繋げるべく立場として、一人でも多くの仲間を集い、継承を促していきたいと存じます。

昨今、ソフト開発が進みBIMソフトを使つての3次元モデルの作成により、設計から施工、維持管理

に至るまで、建築ライフサイクル全体でモデルに蓄積された情報の活用で、建築ビジネスの業務を効率化し、建築デザインにイノベーションを確立しています。

私の生業とする構造設計も然りで、3次元モデルを作成すれば、自動的に構造計算を行い、断面算定まで導き、構造図面があつという間に作成され、20年近く前の事件すら、時代の中で忘れ去られる日も、四半世紀の技術革新を見れば、そんなに遠い日ではない気がします。

何はともあれ、日々研鑽を忘れず、神事協と共に、今年も邁進したいと存じます。



2025年を控える年

副会長 山口 雄

2024年は異常だったコロナ禍という時期も明けつつあるなか、平常や通常や普通という時間を取り戻す年になるのかと思います。

しかし私達建築士事務所の会員の多くの方が関わるであろう法改正が翌年に迫った年でもあります。

2025年には原則全ての建築物が省エネ基準への適合が義務付けられ、それに併せて建築確認における4号特例が縮小されます。

この事は4号特例に慣れ親しんでいる方にとってはかなり影響が大きい法改正だと思います。

この様な法改正に対し会員相互で聞けたり、知れた

り、学べたり出来る場を設けることも建築士法に基づく法定団体として神事協に求められる大切な事なのかと考えています。

そこで今年度内に開設される「会員サポートセンター」がその一端を担ってくれるはずですが、

法改正まで時間は残り1年と僅かしかありません、法改正がある毎に私達建築士事務所は苦慮していますが、逆に言えば法改正は今までを少しでもリセット出来るチャンスでもあるかも知れません。

この機会を逆に活かし今後繋げられる様な場面を少しでも多く会員の方々に提供できるよう取り組みたいと考えています。

特集 無印良品が考える空間づくり

第5回 くにたち未来共創拠点矢川プラス

株式会社良品計画 空間設計部 喜多見 智子



3

くにたち未来共創拠点矢川プラスは、国立市民の方を中心に意見を集めることで出来上がった、国立市初の複合公共施設です。

施設内には、児童館、子育てひろば、幼児教育センター、多目的ルームなどをはじめ、ゆとりのある共用空間が広がっています。

矢川プラスの施設のコンセプトは、「まちなかの大きな家と庭」です。生き甲斐、学び、楽しさ、癒しをもらえる場所を提供したいと考えました。そして私たちは、対話を通じて地域・世代を越えて交流し、そこに関わる方々で考え、日常生活の中で様々な“コト”が生まれる「大きな家」を地域の皆さんと一緒に作る提案をしました。

矢川プラスは多世代交流拠点の、さまざまな世代の方を対象とした複合公共施設なのですが、施設の半分ほどはこどもたちの為の空間となっています。

乳幼児から幼児、就学児まで幅広い年齢層のこどもたちを受け入れる場として、細やかな計画がされています。そのような施設の中で、私たちが大切にしたのは「こどもたちの想像力を引き出す」ということです。

こどもたちが過ごす空間に置く家具や遊具、おもちゃなどはできる限り天然の木材を取り入れています。安心安全設計については、実績のある協力業者とも連携しながら、一本の木をあますことなく使いました。デザインしすぎず“素のまま”を活用することで、匂い、触感、木の硬さの違いから鳴る音、重さの違いを感じてほしいと思い、素材に触れ、豊かな想像力で見立て遊びを楽しんでもらい、自然と学びに繋がることを考えました。この空間で、こどもたちの無限大の想像力が引出て欲しいと願っています。

ものづくりの際に考えたのは、なるべく地域材である東京の木を使うということと、地域のプレイヤーの力でつくるという事です。

東京の木を活用するにあたって、奥多摩エリアで造林・育林などの林業から製材、加工まで取り組まれている協力業者に相談をし、実際に山の中を案内してもらいました。

林業に本気で取り組まれている方々とお話しをさせていただき、矢川プラスの開業後も持続可能な次世代につながる関係づくりができれば良いと感じました。

こうして、天然の木材を取り入れながら、楽しく遊びながら学びにもつながる遊具や家具が完成しました。

開業前のプレオープンの際に、これからこの施設を利用されるであろう地域の方々を対象に“お茶の間会議”を開きました。

そこでは無印良品のお菓子や飲み物を広げながら、さまざまなテーマを雑談形式でお話ししています。

矢川プラスは「つどう、つながる、つくりだす」をスローガンに、みんなで作っていき場所として地域の方々と共に考えることづくりを行なっています。

その中の取り組みの一つとして、ワークショップやマルシェ等、市民参加型のさまざまなイベントが開催されています。その成果もあるのか、2023年4月の開業以来、毎日たくさんの方々が来館されていると聞いています。今後も矢川プラスの活動を良品計画でお手伝いしていきたいと考えています。



アメジスト建築設計 一級建築士事務所 小河 泰隆

日立駅（JR東日本常磐線、茨城県日立市）

品川から特急「ひたち」「ときわ」に乗り約2時間弱、日立駅にて下車しました。この駅は太平洋を臨む海側に面しており、ホームから駅舎を見ると太平洋に向かってガラス張りの四角く突き出した形態を見ることができます。

日立駅の現在の駅舎は2011年に建て替えられ、当地出身の建築家・妹島和世氏の設計です。西沢立衛氏とのデザインユニットSANAAでも著名ですが、こちらは単独での設計です。ホームから階段を上がり改札口までの道線はひとつ、改札を出ると左側が正面出口でバスやタクシーのプールがあります。

改札を右側に出ると太平洋側、こちらにも出口があります。進んでいくと緩やかなスロープ状で海に向かって空と海の青のコントラストが見えてきます。ガラス面まで進むと海面からは高い位置にあるので、太平洋が一望できます。この青さは晴れていたらそれは見事で、太平洋側は東向きであることから朝日の美しさも特筆されるそうです。朝日を見るのであれば当地に宿泊しないと難しいようです。

足元に特徴的な3枚の花びらの形をした低いスツールがいくつかありますが、これはSANAAの建築で見ることができるデザインです。

海側に面してカフェがあります。パンケーキが有名ということですが、訪れた時間は午後のカフェタイムで混雑していて入れませんでした。カフェからも太平洋が一望できるはずですが、また、スロープ部分にはいわゆる「駅ピアノ」が設置されて、人々が思い思いに演奏を楽しんでいました。

駅は様々な人が行き来する空間ですが、滞留する場所かというところではなく通り過ぎる空間であることがほとんどです。しかし、この駅でしばらく佇んで人の流れを観察しましたが、ほとんどの人がこの空間や眺望を目的にして滞留していました。

駅という建築に求められる要素は様々ですが、海に近いこの駅のロケーションをこうした空間と外観で来る人々の様々な新しい目的を発生させる手法は、妹島氏の技量と出身地への誇りを感じました。

※朝日の写真などはネットなどの検索でご確認ください。

5



改札から太平洋側へのスロープ



スロープの先



内部から太平洋を臨む



外観（正面から）



外観（太平洋側の下から）



外観（太平洋を臨む）

SHONAI HOTEL SUIDEN TERRASSE (山形県鶴岡市)

山形県鶴岡市は庄内地方では最大の都市です。上越新幹線「とき」と特急「いなほ」の乗り継ぎで約4時間、または羽田空港から庄内空港まで約1時間のフライトでアクセスできます。

ご紹介する「SHONAI HOTEL SUIDEN TERRASSE」(以下スイデンテラス)は2018年にオープンしたホテルです。設計は坂茂氏、今や世界的な建築家ですが、私が30年ほど前の大学時代に坂氏が1年のみ教授待遇の講師として来て講師と学生として接することができた経験から、その後の坂氏の活躍には様々な思いがあります。坂氏は最近のメディアでのお話しはとても分かりやすく柔和ですが、30年前は大学の授業での作品の講評が常に殺気立っていて、激しい口論になることばかりでした。そんな思い出もありますが、今回訪れることができたスイデンテラスをご紹介します。

スイデンテラスは鶴岡駅からタクシーで10分程度、周囲は広く開けた水田地帯です。外観は2階建てで屋根材の形状に特徴がありますが、水田に囲まれたロケーションに見合う幅を感じるデザインです。今回は写真が撮れなかったのですが、水田に水が張られる5~6月であればホテルの建物や周囲の景色が水田に鏡のように映るそうです。

メイン部分は2階建てで、1階は大部分が車庫などのピロティーになっており、2階がフロント、ロビー、レストラン部分、図書室、ショップの要素の空間で構成

されており、切妻屋根の形態で吹き抜けになっており高い空間です。

坂茂氏といえば、阪神淡路大震災での仮設建築に用いた紙管の技法が特色です。この空間でも紙管による空間演出があり、インテリアもその色にまとめられています。

客室はメイン部分から亀の手足のよう飛び出したユニットが4か所あり、外観は仮設コンテナのようです。その手足のようユニットはそれぞれに客室、バス空間、バー、図書室などが散らばっており、アプローチは部屋によりやや距離があります。

レストランは各食とも山形や庄内地方特産の食材がメインで、季節感があるお食事が楽しめます。

バスは部屋にもありますが3種類の大浴場があり、男女入れ替え制になります。夜と朝で違う大浴場を使用できます。それぞれに趣向の違うサウナも完備されており、サウナ目的でも楽しめます。露天風呂からは水田ばかり見える景観ですが、季節によりカエルの大合唱が聞こえます。

ホテルとしてモダンな内外観で年代層により好みに分かれると思いますが、口コミなども参照の上で訪れてみてはいかがでしょうか。個人的にはとても気に入ったホテルで、鶴岡市はクラゲで有名な加茂水族館や有名なイタリアンレストランなども観光先としておススメです。



外観



ロビー



ショップ



図書スペース



紙管の仕切り



図書室

全国大会活動報告

「全国大会」

海老名支部 (株)マイ建築構造 小松 正道

第45回建築士事務所全国大会（鳥取・島根大会）が、10月12日（木）～13日（金）、鳥取県米子市（米子コンベンションセンター）で、開催されました。

この全国大会は、鳥取県建築士事務所協会と島根県建築士事務所協会が共同で企画運営を行い、二つの県を跨る全国大会史上初の開催となりました。

今回の大会テーマは「神話のふるさと悠久の山陰からの挑戦」で、大会スローガン「地方から環境新時代を考える」を掲げました。

13日（金）は、内藤廣氏「グラントワから考える山陰からの挑戦」の基調講演により始まり、大会式典ではアトラクション（石見(いわみ)神楽(かぐら))が行われ、我々を歓迎してくれました。

児玉耕二（日事連）会長は、昨今の課題として、BIMの進展による設計プロセスの変化やWeb活用による業務のデジタル化、建築物省エネ法改正に続く制度改正（2025年）等、社会のニーズに対応して行かなければなりません。一方で、気候変動による環境の変化や誘発する自然災害への備え、建築の専門家として、日頃より安全安心の家づくり街づくりに貢献していくことは我々の使命であると、締めています。

白井勇（日事連）副会長は、建築士事務所憲



章を朗読し、建築や環境が文化の形成に占める重要な意味を認識し、社会の健全な進歩と発展に寄与します。と、大会参加者に促しました。

夕刻より、記念パーティがANAクラウンプラザホテル米子で行われました。

神奈川会からも、平山正義会長をはじめ多数の会員がパーティに参加しました。

乾杯の後、アトラクション（安来節）が披露され、穏やかな天下泰平を物語る江戸中期の安来のまちを感じさせてくれました。

来年の全国大会(第46回開催地)は福井県です。皆さんでおいしいカニを食べに行きましょう。

(もしかして解禁前・・・？ 冷凍もの・・・？)



活動報告

スポーツ大会報告

県央ブロック長 (株)中山工務店一級建築士事務所 中山 裕次

2023年11月4日(土)海老名市北部公園体育館にて、令和5年度神事協スポーツ大会が開催されました。県央ブロックではコロナ禍以前より厚木支部で行われていたカローリングを実施と決めていました。7月より本格的に企画・準備に入り、神奈川県カローリング協会との打合せ・役割分担等、県央ブロックの団結力にて進めてきました。32チーム96名の参加者は、体育館のコートにあるジェットローラーやポイントゾーン等、皆さん興味津々でした。競技説明が終わり、いよいよ試合となりました。最初はジェットローラーが思うように転がらず、慎重になれば届かない、少し力を入れると的を超えて通り過ぎ、はじき出そうと狙うと、とんでもない方向へ転がってしまう。チーム内で力の加減やフロアの特徴をアドバイスし、戦略を練ってコツをつかんでからは、ジェットローラーにぶつけて得点を取ったり得点を阻止したり一投ごとに一喜一憂して「ナイスショット!」「大逆転だー」との歓声が沸き、各チーム白熱した戦いを繰り広げました。



集合写真

戦士たちはカローリング競技の余韻を楽しみながら、懇親会会場であるザ・ウィングス海老名に移動。西原賛助会会長の乾杯発声を盛大に行い開宴スタート。おいしい食事やお酒を堪能して交流を図りました。程なく表彰式が始まりブービーメーカーから順に発表し賞品授与を行いました。すごく楽しめたから順位は関係ないよとみんな笑顔で賞品を選んでました。いよいよTOP3の発表となりました。

優勝 賛助会4

準優勝 海老名

3位 さがみっばらA

優勝の賛助会4は断トツの結果でした。



真っすぐいけー



狙いうち!



ナイスショット!



大逆転だー



和気あいあい



優勝した賛助会4

次期開催地の川崎ブロックに引継ぎ閉宴となりました。結びに、神奈川県カローリング協会の皆様、参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。

賛助会だより

快適な住環境のパートナーとして建築事業者様と施主様を紡ぐ

株式会社アイジーコンサルティング 横浜支店 支店長 河本 泰一

株式会社アイジーコンサルティングの河本(カワモト)と申します。

日頃より賛助会員として協会の皆様にお世話になり、誠にありがとうございます。

これまで賛助会理事を務めてまいりました浅岡の異動に伴い今後お世話になります。

私は2006年に新卒として入社以来、木造住宅の維持・管理に従事しこれまで7,000件以上の住宅の床下点検にて、シロアリ防除工事をはじめとする住宅メンテナンスのご提案をして参りました。

新築着工棟数の減少や空き家問題など、ますます住宅ストック活用型社会への転換が迫られる中、良質な住宅ストックを増やしていく事が求められております。

そんな社会課題の一助になるべく協会の皆様のお力添えができればと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

●住まいは経年進化する

創業明治32年。日本で初めてシロアリ防除技術を確立させて以来、1世紀以上に亘って木造住宅の維持・メンテナンスに取り組んで参りました。

現在は「住まいは経年進化する」というビジョンのもと、戸建住宅お引き渡し後の定期点検代行サービス・シロアリ防除工事・各種断熱材の設計施工・制振装置・床暖房などの提供を通じて工務店様のお手伝いをさせて頂いています。

また、自社の他部門に建築部門を持ち、年間60棟の木造注文住宅の新築・リフォーム工事を行っています。自社に建築部門があるからこそ提供できる情報、ご提案できるサービスがあります。

工務店様のニーズをいち早くキャッチし、唯一無二のビジネスパートナーとして、アイジーコンサルティングは新たな価値をご提供します。

参考

<https://www.sbic.co.jp/investeecompany/detail/index.php?id=2072>

<https://kensetsu.ipros.jp/company/detail/2001635/>

事業内容

○ハウジングストック事業（定期点検代行/防蟻施工/断熱施工/制振装置販売他）

○メンテナンス事業（シロアリ防除施工/塗装工事/住宅点検）

○新築事業（注文住宅・設計・施工、リフォーム、リノベーション）

○不動産事業（不動産売買/仲介）

○カンパニーズ事業

《住宅会社様向けお取扱いサービス》

お引き渡し後の定期点検代行サービス

新築時・既存住宅 シロアリ防除施工

断熱材施工サービス セルロースファイバー・現場発泡断熱

制振装置設計・販売（代理店）



株式会社アイジーコンサルティング
〒221-0005 横浜市神奈川区松見町4-1045-1
TEL 045-401-3311 FAX 045-401-3366

賛助会だより

現況調査アプリ「りのべっち」

福井コンピュータアーキテクト株式会社 阿保 萌

福井コンピュータアーキテクト株式会社の阿保と申します。展示会の出展など平素よりお世話になっており、心より感謝申し上げます。弊社は住宅産業・建築業界のなくてはならない会社を目指し、戸建住宅の設計に特化した3次元CADシステム「ARCHITREND」や大規模建築物の設計・施工を支援するBIM対応システム「GLOOBE」など、建築CADシステムの開発・販売を行っています。



今回は3D建築CADとデータ連携できる現況調査アプリ「りのべっち」をご紹介します。リフォームを手掛ける方、現況図を描かれる方は是非ご一読ください。



1. スキャンして現況図作成

「りのべっち」は現況調査現場で3Dスキャン（LiDAR機能）して現況図や3Dモデルを自動生成する無料のアプリです。図面を描かずして現況図を作成できるため、現調を行う人数や調査時間の削減に繋がります。実際の現況調査において従来手法と「りのべっち」を比較検証したところ、作業時間を1/3に短縮できることを実証しました。

2. 手描き感覚の直感的操作

また、紙に手書きしているような「直感性」でエスキスしながら現況図面入力 of 省力化を図ることができます。さらに既存図面などの下図を取り込んでトレースできるため、スピーディーで正確な現況図の作成も可能となります。



3. 実建材でリノベーションイメージをシミュレーション
現況図の作成後は、実建材コンテンツを3Dモデルに反映させてリアルな建材イメージを表現することができます。お施主様との打合せでリノベーションイメージなどを具体化する際にも役立つツールです。



iPhone、iPadをお持ちの方はすぐにダウンロードできますので、是非「りのべっち」でお調べください。その他の建築CADやBIMシステムをご検討されている方は是非弊社までご相談いただけますと幸いです。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

福井コンピュータアーキテクト株式会社関東営業所
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-19 大森MHビル8F
TEL 0570-039-291 FAX 03-6404-8405

満員御礼のしごと展

横浜支部では毎年しごと展を開催しています。

以前は単独で開催していましたが、公共建築100周年であった昨年からは横浜市建築局のイベントの中での開催となっています。

一週間の会員のパネル展示と、横浜市のイベントに合わせた子供用イベントの二本立ての構成です。

しごと展などのイベントは会場の確保と集客が大きな問題で、以前は横浜支部も同じ悩みを抱えていたのですが、昨年からは状況が一転しました。

横浜市役所のアトリウムの一部を借りることが出来て、更に市立小学校に対してチラシを配布して頂けるのです。

チラシは同時開催の他団体のイベントも含んだものですが、宣伝効果は十分以上です。

子供向きイベントはおりがみ建築と称して、切り込みが入った建物の塗り絵をして、それを折ることによって飛び出す絵本のように立体になるものです。

おりがみ建築は全て実行委員が描いたものです。

参加した方は、お子さんだけでなく大人も一緒に楽しく塗っていました。

昨年も午前中で一日分の予約が埋まる盛況ぶりだったので、今年は座席も増やして挑んだのですが、最長で2時間待ちの大盛況でした。

終了時間が近くなっても参加希望者が訪れる程です。

株式会社 エスシー・テクニカ 鈴木 武昭

最終的に親子127組(372名)が参加しました。

待ち時間が長すぎたので、待てない方にはおりがみ建築用紙を一枚プレゼントしました。これも198枚になりました。

店舗と吹き抜けを繋ぐ人通りが多い会場だったため、パネル展示のみを行なっている期間も人目を引き、イベント中も参加中の親子が熱心に見上げる姿も垣間見えました。

置いてあった様々なチラシも徐々に減っていきまされたので、宣伝効果も十分だったと思います。また来年も同じようにしごと展を開催できたら良いな、と考えています。

その際には他の支部の方もいらっしゃって下さい。



11



金目(かなめ)エコミュージアムの活動

支部長 黒部設計事務所 黒部 光司

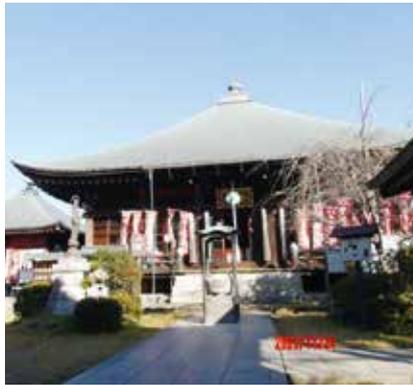
私が住んでいる金目地区は平塚市の北西部で、小田原・厚木高速道路の平塚インターチェンジと東海大学湘南キャンパスに挟まれた地域で、川あり、田畑あり、丘陵地あり、と自然も生き物も多様です。

エコ・ミュージアムとは生態学(Ecolgy)と博物館(Museum)を組み合わせた造語で「一定の地域の人々の生活と、その自然、文化を研究しそれらの遺産を保存、育成、展示して地域社会の発展に寄与することを目的とした野外博物館」です。地域とそこでの生活をまるごと博物館に見立てて地域の活性も促すこの活動に2007年の発足以来参加しています。

金目には縄文時代の五領ヶ台貝塚、弥生時代の塚越遺跡、4世紀の塚越古墳と5,000年の歴史が眠っています。建築物としては金目観音の本堂があります。1498年建立で平塚市最古の建物で、神奈川県的重要文化財に指定されています。本尊は聖観音菩薩で702年(大宝2年)に海女が海中で見つけた観音像を道儀上人が金目の地に安置したのが始まりとされています。

金目観音は坂東7番の札所で、源頼朝が北条政子の安産の加持を命じた祈願所の一つでもあります。祈願されて生まれた子が後の三代将軍、源実朝です。

また、金目には源頼朝の石橋山の戦いで先陣を務めて倒れた真田与一義忠の真田城がありました。城は1586年に天徳寺となり、今も境内に与一廟所があります。明治期には中郡金目村となり秋山博が私立中郡盲人学校を開校し、盲人に鍼灸の技術を教え自立支援に生涯を捧げました。後に県立平塚盲学校へと発展する礎となり、毎年3月に頌徳祭を開催しています。明治19年には自由民権運動家が三郡共立学校を開校しました。これが後に県立平塚農業高校と県立秦野高校へと発展しました。平塚でも農業後継者は先細り状況で、耕作放棄地が増えつつあります。これを何とか有効活用しようとして作ったのが野菜塾です。塾生を公募して野菜作り、大豆を栽培して味噌造り教室を開催、毎年小学5年生に米作りを指導したりしています。田植えも稲刈りも手作業で、子供たちに元気をもらい、汗をかいているこの頃です。



金目観音本堂



金目観音仁王門



真田与一神輿



塚越古墳



柿塾は50本の富有柿を栽培



少学生と稲刈り

新耐震グレーゾーン

(株)ワック設計 熊井 貴之

去る11月9日、一般社団法人日本建築士事務所協会連合会としての要望運動を兼ね県央地域関係行政庁挨拶廻りが行われました。

8:30に集合し、海老名から始まり座間市・綾瀬市・愛川町・清川村・厚木市・厚木土木事務所(大和市は市長をはじめ担当部署の方が不在の為、後日訪問予定)を一日かけ訪問し、要望書を提出します。

要望の内容は

〈業務報酬基準の準拠と業務内容の明確化について〉

〈入札方式に偏らない評価方式の採用と適正価格の設定について〉

〈建築士事務所賠償責任保険への加入について〉

〈建築CPD情報提供制度の実績活用について〉

と言ったものでしたが要望が一通り終わるとどの行政でも話題の中心はいわゆる新耐震グレーゾーンになりました。

海老名市では年に三回ほど市役所にて耐震相談が行われ、我々海老名支部会員が相談員として対応にあたりますが大きな地震でもない限り相談者が極端に少ない回もあります。

海老名市の住宅の耐震化が進んだ結果であれば納得も行きますが事はそう簡単でもありません。

支部としても直接地元に貢献出来る事業でもある事から相談者が継続するアイデアが無いかと思案していたところに対象外だった昭和56年以降の建物の診断を行う事はどの立場からもメリットが多い事と考えておりました。

ところが各行政ともグレーゾーン建物への耐震化費用の助成はおろか、ほとんどの行政ではその問題すら把握していない事が実状でした。

品川区など東京都の一部の行政ではすでに木造耐震診断・補強設計・改修工事とも対象として支援しており神奈川県の出遅れは明白です。

特に県央地区では助成金を捻出するにも国からの補助がなければと言った態度でこの問題に関しては全くの受け身の姿勢に感じました。

挨拶廻りでの話題がどの程度響いているか定かではありませんが行政単位で真剣に取り組んで頂くためにも先行している制度に学び、働きかけて行く事が重要だと痛感した県央地域関係行政庁挨拶廻りでした。

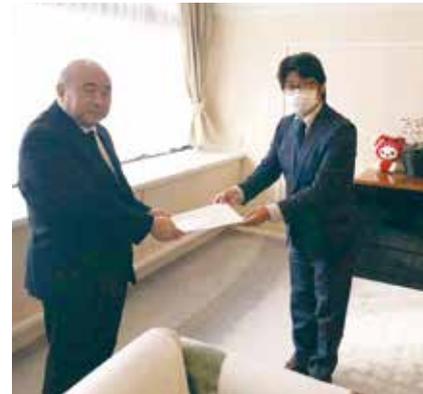
13



愛川町



綾瀬市



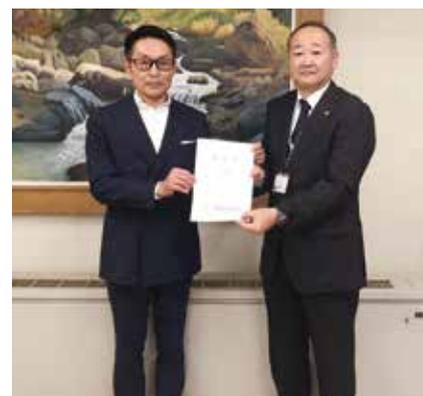
海老名市



厚木市



座間市



清川村

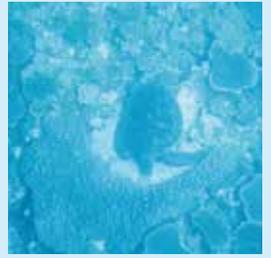
新入会員のご紹介	
横浜支部 一級建築士事務所 株式会社クレアール 〒221-0834横浜市神奈川区台町11-29 横浜エムアイビル701 TEL.045-317-5956/FAX.045-317-5965	井上 英勝
富井建築工房 〒226-0003横浜市緑区鴨居7-10-6 TEL.045-937-2780/FAX.045-479-2133	富井 洋二
斎藤信吾建築設計事務所 〒223-0058横浜市港北区新吉田東2-23-13 TEL.045-270-7322/FAX.045-270-7322	斎藤 信吾
鎌倉支部 合同会社ステラ 一級建築士事務所 〒247-0071鎌倉市玉縄5-17-22 TEL.0467-84-7334/FAX.なし	石川 圭子
伊勢原支部 株式会社イチケン 一級建築設計事務所 〒259-1145伊勢原市板戸204-1 TEL.0463-90-3515/FAX.0463-90-3516	秋元 剛
退会者	
横浜支部 Rew Clasie 坂 一級建築士事務所 有限会社 a c a a 建築研究所 ライフアップステージ2級建築士事務所 末吉アーキテクツ・オフィス	坂 瑞貴 岸本 和彦 笠井 勇人 末吉 哲哉
川崎支部 株式会社なごみ建築設計	柴田奈津子
茅ヶ崎寒川支部 青木建築設計事務所	青木 徳幸
秦野支部 有限会社星野建築事務所	星野 幸治
変更	
横浜支部 株式会社金子設計 (指定代表者変更) 竹島 比佐子	
株式会社嘉環境建築設計 (指定代表者変更) 八重樫 広幸	
株式会社アベニール建築設計事務所 (指定代表者変更) 大栗 宗吉	
株式会社加藤組一級建築士事務所 (指定代表者変更) 浅田 英木	
建築設計加藤住吉一級建築士事務所 (所在地変更) 〒231-0013横浜市中区住吉町3-28 新井ビル410	
環デザイン室一級建築士事務所 (所在地変更) 〒221-0052横浜市神奈川区栄町22-6-603	
川崎支部 建築工房kawasaki屋 (所在地変更) 〒211-0012川崎市中原区中丸子579 BELL・FLAT201号室	
厚木支部 株式会社小沢設計 (所在地変更) 〒243-0218厚木市飯山南4-23-20	
株式会社小宮山工務店一級建築士事務所 (所在地変更) 〒243-0211厚木市三田3-17-34	
山王建設株式会社一級建築士事務所 (FAX変更) FAX046-222-3031	
一級建築士事務所 株式会社エー・アンド・エー建築計画研究所 (指定代表者変更) 永田 政秋	
相模原支部 みんなの支え二級建築士事務所 (所在地変更) 〒252-0156相模原市緑区青山1766-6	
特別会友退会者	
愛川支部 林 茂	

支部名	令和5年12月1日現在				
	令和4年4月1日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	254	262	14	6	8
川 崎	107	112	6	1	5
横 須 賀	49	49	0	0	0
湘 南 三 浦	16	20	4	0	4
藤 沢	36	36	0	0	0
鎌 倉	42	43	3	2	1
茅ヶ崎寒川	15	14	1	2	-1
平 塚	21	22	1	0	1
秦 野	13	12	0	1	-1
伊 勢 原	6	8	2	0	2
大和綾瀬	18	18	0	0	0
厚 木	30	30	0	0	0
座 間	11	11	0	0	0
海 老 名	15	16	1	0	1
愛 川	6	6	0	0	0
相 模 原	61	64	3	0	3
県 西	37	38	1	0	1
合 計	737	761	36	12	24
賛助会員	88	98	10	0	10

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。
※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

編集者のつぶやき

昨年2023年11月に私は還暦を迎えた。
日頃から私は家族に120歳まで生きるとうたっているので、人生半分が過ぎた。(笑)この身体では絶対無理と言われていた。
息子達が沖縄4泊5日旅行をプレゼントしてくれた。
十数年前に訪れた以来の沖縄である。
その時石垣島、竹富島、西表島が素晴らしかったので、石垣島に3泊那覇に1泊して島を満喫した。
飛行機のチケットからホテルの予約、体験ツアーの予約、全て息子がやってくれてカヌーに乗りマングローブを見たり、サイクリングをしたり、水牛に乗ったり、泳いだりとアクティブな旅だった。
この時期珍しいと言われた幸運の海亀も見た！
仕事の電話が来たり、パソコンを持ち込んで夜のホテルでの仕事は現実に戻されたが、サンセットの美しさ、海や珊瑚の美しさ、非日常の感動的な旅だった。
ここまでは良かったのだが、帰って来てから数日後に通風の激痛に襲われた。
三線ライブで盛り上がり、家族に止められたビールを調子に乗って飲み過ぎた。
学習能力の無い私である。トホホ・・・
(県西支部 長川建築デザイン設計事務所 長川 勉)



KANAGAWA 令和6年1月号 (通号448号)

発行 令和6年1月1日 (奇数月1日発行)
 発行人 平山 正義
 発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
 〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 加瀬ビル201 2F
 TEL. 045-228-0755 / FAX. 045-212-3807
 印刷所 株式会社 柏苑社

- ・ 担当副会長 小松 正道
- ・ 担当理事 田中 正幸
- ・ 会誌編集特別委員長 小泉 厚
- ・ 会誌編集特別副委員長 仙波 弦
- ・ 会誌編集特別委員 雨森 隆子 小河 泰隆 森本 和樹
- ・ 会誌編集特別委員 戸井田 顕 中原 尚代 杉本 勝郎
- ・ 長川 勉
- ・ 事務局 小林 恵美



今月の表紙 迎春・船出・日本丸

国指定重要文化財である帆船日本丸は、1930年1月に進水、半世紀に渡り活躍し、1984年に引退。

その後は、日本丸メモリアルパークに展示。美しい姿から「太平洋の白鳥」、「海の貴婦人」と呼ばれた。

2024年は、「甲辰（きのえたつ）」、十二支の中で辰だけが、「龍（竜）」を意味し、架空の生き物です。龍は、中国文化において「力強さ」、「成功」を象徴しています。

私たちは、勇気と自信を持って、世界の平和、地球温暖化に目を向ければ、幸運で繁栄する年となるでしょう!! かつて、帆船日本丸が、夢を追いかけ、出航した様に。

（表紙写真・文／雨森 隆子）

『わが恩師を語る』寄稿文 募集

令和6年5月号より連載が始まる特集『わが恩師を語る』の寄稿文を会員の方々より募集します。

設計事務所の所長・先輩、学校の先生、現場の所長等、建築関係で自分が恩師だと思う方々を語ってもらえる場とします。

●仕事への姿勢やエピソード、教えなど内容は自由です。

●見開き2ページ、文字数1200字程度、写真5～7枚

寄稿ご希望の方は事務局 担当 小林へご連絡いただければと思います。ご連絡先→045(228)0755



一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
Kanagawa Architect Office Association